

市議会だより

はまだ

Vol.26

平成24年(2012年)8月1日発行



全国大会に招待される木田小学校全児童8人の合唱（旭温泉まつり）

6月定例会 めだま記事

ブータン王国との交流再開へ	5P
市政に届けて！私たちの声を（議会報告会）	7P
議員定数等に関するアンケート調査	8P
市政を問う（15名が個人一般質問で論戦）	11P

6月定例会 あらまし

平成24年6月浜田市議会定例会が6月4日に招集され、6月19日までの16日間の会期で開かれました。

提出された議案は、議会提出の議案が1件、市長提出の議案が10件、請願1件で、審査の様子は2ページから3ページに掲載しています。

今定例会の個人一般質問には15人が立ちました。その内容については11ページから15ページに掲載しています。

また、議案の質疑には2議案に対し3名の議員から質疑がありました。

なお、今年度より市内10地区で開催された議会報告会の様子については6ページに、また皆さまからいただいた意見や要望などは7ページに掲載してあります。

今回号では「浜田市議会議員の議員定数等に関するアンケート」を実施します。アンケートの項目は8ページに、ご回答いただく「回答はがき」は9ページにあります。お手数ですが、「アンケート回答はがき」にお答えをご記入いただき、回答はがきを切り取った後、お近くの郵便ポストにご投函ください。なお、切手は不要です。ご協力よろしくお願いします。

雇用促進住宅条例の一部改正

審査白熱

ー 産業建設委員会 ー

今定例会は、開会日の冒頭に、浜田市議会基本条例のなかにある政策討論会を、協議または調整を行うための場として位置づけるため「浜田市議会会議規則の一部を改正する規則」を議会運営委員会から提出し、全会一致で可決しました。

また、市長提出議案の承認議案2件、条例の一部改正や補正予算などの議案6件、人権擁護委員候補者の推薦の同意議案2件、そして、「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書の提出」の請願1件が各所管委員会に付託され、それぞれ審議を行いました。

産業建設委員会には、議案4件が付託され、厳正に審査を行いました。このうち、「浜田市雇用促進住宅条例の一部を改正する条例」については、本会議の議案質疑のなかでも、議員から厳しい質問があり、その経過も踏まえ、執行部に対し詳細な説明を求めました。

説明後、委員からは、独立行政法人雇用・能力開発機構から、浜田市に所有権が移っても、家賃決定については機構の家賃決定方法を受け継いだ方がいいのではないかと、また、ほとんどの入居者の方々が家賃体系Ⅱに該当するのであれば、家賃

▼金城町希望ヶ丘団地内にある雇用促進住宅



▼市道（西浜田5号線）を現地視察するようす



体系Ⅰは廃止して、家賃体系Ⅱからスタートすべきではないか。さらに入居に際しては、入居条件を了解された上で契約がなされていると思うが、結果として不公平感が残る。現実に即して問題解決を図るべきではないかといった内容の質疑があつたところです。

担当部長からは、10年間家賃体系は維持していくことで施設の売買を受けた。また、家賃体系Ⅱでスタートさせる市の基準を持つべきかどうかの検討も行ったが、現在の経済状況からして、ハ

ローワークの紹介の有無に関わらず、新規に仕事を求められる方と同じでいいのではないかと判断し、家賃体系Ⅰからスタートしたところであるとの見解が示されました。

採決に当たっては、1名の委員から、不公平感が残るが、過去の流れや経緯もあり、非常に難しい採決であるため棄権したいとの申し出をした後、退室するという異例の事態となったため、出席委員のみで挙手にて採決を行いました。その結果、出席委員6名が全員賛成により、本議案については可決すべきものと決しました。

また、「市道路線の廃止・認定」などの3議案については、それぞれ採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

請願

「緊急事態基本法の早期制定」は 賛成多数で継続審査に

— 総務文教委員会 —

総務文教委員会では、今定例会で付託された議案はなく、請願第19号「緊急事態基本法の早期制定を求める意見書の提出」について審査を行いました。

委員からは、憲法改正

しながら議論をすべきではないか。また以前、民主・自民・公明の3党合意されているが、今日まで放置されている理由が何か分からない。さらに、この基本法の原案な

ども確認をして判断すべきと考える。

今後、情報収集もしながら研究する必要がある、継続審査とすべきではとの意見が、また、ある委員からは、武力的なものを災害などひとくくりにするのは問題があると考え、本請願の趣旨には反対の意向である旨の意見が、一方、有事の際、国を守るためには、緊急事態基本法は必要であるといった意見も出されたところです。



そして、本請願に対する賛否を諮る前に、継続審査とするかどうかについて採決を行った結果、賛成多数で継続審査とすることになりました。

福祉医療費助成条例 一部を改正

— 福祉環境委員会 —

福祉環境委員会は議案1件について、審査を行いました。

「浜田市福祉医療助成条例の一部を改正する条例」は、平成22年度の税制改正において、子ども手当の創設や高校の実質無償化に伴う扶養控除等の見直しが行われ、1点



▲弥栄自治区にある斎場を視察するようす

目には、16歳未満の扶養親族（年少扶養親族）に対する扶養控除38万円が廃止。2点目には、16歳以上から19歳未満の扶養控除の上乗せ部分25万円が廃止になりました。この税制改正により、福祉医療費助成制度の対象者が従来と同じ所得であっても、本年7月1日以降、福祉医療の対象とならない可能性があるため、扶養控除等の見直しの影響が生じないよう所要の改正をするものです。

採決の結果、全会一致で、可決すべきものと決しました。

また、委員会では、審査当日に所管事務調査として、4地区全ての火葬場を現地視察しました。



▲浜田市火葬場の施設内を視察するようす

私立保育所施設整備 補助事業に質疑集中

— 予算審査委員会 —

予算審査委員会は、平成24年度浜田市一般会計補正予算1件について審査を行いました。

審査では、私立保育所施設整備補助事業に委員からの質疑が集中しました。

委員からは、事業費の内訳や定員に対する現状、増築後の面積の変動について、また、開設後わずか1年で増築をするということ、当初計画の甘さに対する指摘などの質疑がありました。

執行部からは、定員45名に対し、現状は55名で面積基準も暫定的に遊戯室なども活用し、何とか対応できているが、年齢

ごとの部屋割りにしたい。また、設立時の定員は60名にしたいという意向が設置者からあったが、未就学の定員検討委員会などの意見や周辺の園の現況など、様々な現状を鑑み45名の定員としたなどの答弁があったところです。

▼市内久代町にある「うみかぜ保育園」



また、浜田市商業活性化支援事業では、事業主体の説明や補助率などについて、さらに、ふるさと教育推進事業では、実施に至った背景や配分率について質疑があったところです。その他、企業参入・連携支援事業では、事業費の昨年との対比や内容について質疑がありました。

採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。



▲小福井団地内にある雇用促進住宅（熱田町）

反対討論

笹田 卓 議員

議案第60号

浜田市雇用促進住宅条例の
一部改正に対し

1名の議員が討論

議案第60号浜田市雇用促進住宅条例の一部を改正する条例については、3月定例会の一般質問で、浜田市雇用促進住宅が独立行政法人から、浜田市に所有権が移り家賃体系に不公平があると指摘があったため、条例の不備を明確にし、家賃体系はそのまま条例改正を行うものである。浜田市雇用促進住宅に住んでいる市民の不公平を全く無視した条例改正だと認識している。



▲雇用促進住宅の公園で遊ぶ子どもたち

産業建設委員会での審査では、先輩議員から市民目線で丁寧な質問があったが、執行部からは浜田市の体裁のみを重んじた大変残念な答弁であった。

例をあげると、平成23年3月から入居した住民と、平成23年4月から入居した住民とは、たった数日、入居した時期が違っただけで、4年間も家賃体系に差が出ることになる。

それについて、執行部からは、平成23年4月以前は、独立行政法人が管理している。確かに、不公平はあるものの契約はそのまま生きている。弁護士にも相談して決めたとの答弁があった。

これらの不公平に該当するのは、平成21年4月からの入居した住民でも37世帯にのぼり、仮に4人家族だとしても約150人の市民に影響があると考える。

このような住民を無視した条例改正ではなく、浜田市雇用促進住宅は2年更新であることから、該当する世帯に対して次の更新時には家賃体系を上げずに、据え置くなどの住民に優しい処置も必要ではないかと考える。

以上の理由から、この議案に対して、反対を表明する。

請願・陳情の審査経過および結果 —平成24年6月定例会審査分—

区分	請願・陳情の内容	提 出 者	審査した委員会 および結果・経過等
請願	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書の提出	アジアと日本の平和と安全を守る 島根県フォーラム 会長 細田 重雄 様	(総務文教委員会) 閉会中の継続審査

6月定例会 賛成と反対のあった議案など

区分	議 案 名 等	採決結果	採決状況
請願	議案第60号 浜田市雇用促進住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数 (挙手採決)



平成24年6月定例会で

可決された主な事業

目指せ！ “地域商業の活性化”

—事業費用の一部を

県と市が補助し商業活性を図る—

- 空店舗対策事業 中心商店街の空店舗活用策
居場所を作り人の流れを増加させ交流を図る
- 商業活性化提案事業 街コンを開催し消費拡大
店舗と主催者が飲食店の販促と出会いの場を創出
- 事業費 299万7千円
(うち浜田市負担分131万4千円)

緊急！石田線災害防除事業（三隅町）

新規事業

—法面に広範囲にわたる亀裂！

崩壊危険個所の災害防除工事—

- 平成24年度 測量設計、法面工事
- 事業費 8,000万円
(うち浜田市負担分400万円)

あんしん歩行エリアへ改善！

—中心市街地の交通安全対策整備工事へ—

- 浜田337号線歩道整備 中芝橋～相生町130m
安全のために減速を促すジグザグ歩道の整備に
- 新町相生線 栄町ロータリ～京町9号口250m
広小路～栄町ロータリーの通行改善
- 事業費 9,450万円
(うち浜田市負担分210万円)

決定！ 私立保育園を支援！

—認可保育所「社会福祉法人の助成に関する
条例」に基づく助成を行う！—

- 大規模修繕事業 雨漏り改修や設備修繕など
みなと保育園、みのり保育園、岡見保育所
- 増築工事 保育園児の入園状況の変化
に伴い、うみかぜ保育園トイレや保育室
の増築
- 事業費 6,718万7千円
(うち浜田市負担分119万7千円)



テンジンさんは、研修
期間中に重度の心臓病と
診断され、松江赤十字病
院で心臓に人口弁を取付
ける手術を受けられ、無
事成功しました。
手術前には、交流会な
どで仲良しになった旧三



▲テンジンさん(右端)と

ヒマラヤの秘境ブー
タン王国と浜田市とで今年
度、友好交流協定が結ば
れる予定です。
浜田市とブータン王国
のつながりは、昭和61
年、旧三隅町に、石州和
紙の技術研修にノルブ・
テンジンさんが来られた
ことが始まりです。



ブータン王国との 交流再開へ

それ以降、ブータンか
らは延べ17人が石州和紙
や木工などの研修で旧三
隅町に滞在していました。
平成6年には、ブータ
ンから経済産業貿易大臣
が来町され、友好交流協
定書に調印。また、平成
7年には、当時の清谷三
隅町長がブータンを訪問
し、文化交流協定書に調
印し、相互の交流を続け

保小学校の児童たちが病
院を訪れ、千羽鶴や募
金、和紙に書いた激励の
手紙をプレゼントしたこ
とが当時の話題となりま
した。



▲経済大臣(中央)と



▲製紙工房(テンジンさん・左側)

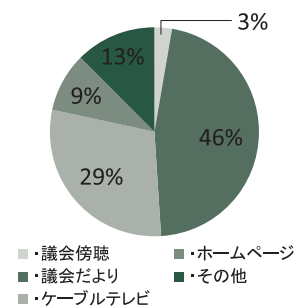
ていましたが、残念なが
ら、市町村合併後は交流
が途絶えていました。
昨年、ブータン王国の
ワンチュク国王夫妻が来
日され、大きな反響を呼
びました。その来日を契
機にして日本国内でも
ブータンの国民総幸福量
(GNH)という考え方へ
の関心が高まっているな
か、石州和紙協同組合を
はじめ関係者の皆さんの
努力によりブータン王国
との交流が再開される見
通しとなったことは、浜
田市にとっても大変喜ば
しいことです。

市内10地区で議会報告会を開催 議会として初めて市民の生の声を聴く

浜田市議会は、5月14日から18日までの5日間、1日2か所、計10か所を4班に分かれて出向き議会報告会を開催し、全体で241名の参加がありました。市民の皆様には主に3月市議会定例会の議案審査の状況と議員定数についての検討状況を報告しました。そしてたくさんのご意見をいただきました。以下、当日配布回答をいただいたアンケートの結果、いただいた意見・要望の一部を紹介します。

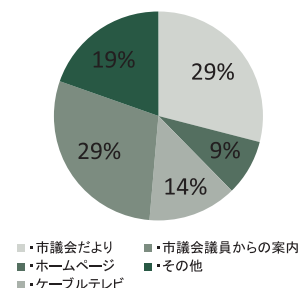
■市議会の情報をどんな手段で得ていますか

	浜田						金城	旭	弥栄	三隅	合計
	長浜	周布	浜田	国府	石見	美川					
・議会傍聴	0	1	3	0	0	1	0	2	1	0	8
・議会だより	2	7	13	1	26	7	7	19	18	37	137
・ケーブルテレビ	1	4	6	2	17	2	4	9	10	32	87
・ホームページ	0	2	3	0	7	2	2	3	0	8	27
・その他	1	0	3	3	9	3	2	2	8	6	37
合 計	4	14	28	6	59	15	15	35	37	83	296



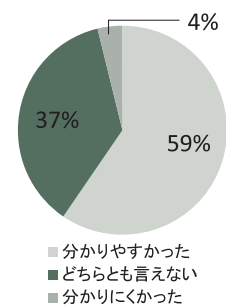
■議会報告会への参加のきっかけ

	浜田						金城	旭	弥栄	三隅	合計
	長浜	周布	浜田	国府	石見	美川					
・市議会だより	2	4	9	1	17	3	3	9	14	12	74
・ホームページ	0	0	4	1	6	0	0	3	3	5	22
・ケーブルテレビ	0	2	4	0	6	0	0	2	2	19	35
・市議会議員からの案内	0	5	7	0	22	4	2	3	9	22	74
・その他	0	0	2	3	7	2	3	16	6	11	50
合 計	2	11	26	5	58	9	8	33	34	69	255



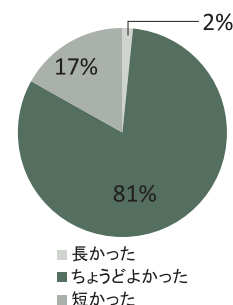
■報告会の内容について

	浜田						金城	旭	弥栄	三隅	合計
	長浜	周布	浜田	国府	石見	美川					
分かりやすかった	1	4	10	4	17	5	4	22	13	29	109
どちらとも言えない	0	2	6	1	19	3	5	4	8	19	67
分かりにくかった	0	1	1	0	1	0	1	1	2	0	7
合 計	1	7	17	5	37	8	10	27	23	48	183



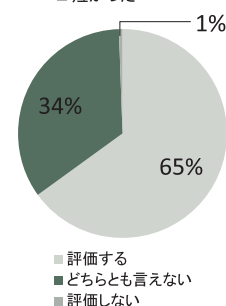
■時間について

	浜田						金城	旭	弥栄	三隅	合計
	長浜	周布	浜田	国府	石見	美川					
長かった	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	3
ちょうどよかった	1	4	14	5	35	7	7	23	9	45	150
短かった	0	3	3	0	1	1	2	4	15	2	31
合 計	1	8	17	5	37	8	9	28	24	47	184



■評価について

	浜田						金城	旭	弥栄	三隅	合計
	長浜	周布	浜田	国府	石見	美川					
評価する	1	7	10	2	21	6	4	21	13	32	117
どちらとも言えない	0	1	5	2	16	2	6	6	10	14	62
評価しない	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計	1	8	15	4	38	8	10	27	23	46	180



市政に届けて！ 私たちの声を



▲三隅公民館で開催された
議会報告会のようす

浜田市議会が、初めて開催実施した議会報告会のなかで、参加された市民の皆様から、貴重な生の声をたくさんいただきました。本当にありがとうございました。今回の議会報告会でいただいたご意見やご要望などの総数は、83件でした。なかでも非常に多かったご意見は、「議員定数」と「自治区制度」、さらには「議会だより」に関するものでした。ここでは、皆様からいただいた貴重な声の一部を各会場別にご紹介させていただきます。

なお、次回号では、いただいたご意見やご要望などに対する浜田市と議会の基本的な考え方を掲載する予定です。

○三隅公民館

- ・自治区制度が、合併後10年には廃止されるのではないかと心配だ。議員定数28名を守るべきであり、各自治区からの議員がいなくなるのは問題だ。
- ・エネルギー問題を考えた時、三隅火電2号機建設推進すべきではないか。チャンスとして捉まえるべきだ。

○石見公民館

- ・かなぎウェスタンライディングパークは赤字続きのなかで、浜田市直営となっているが、早急に結論を出すべきではないか。跡地の事で議論しているようだが、ダメなものダメ。
- ・まちづくり推進事業の区域のあり方を再検討をお願いしたい。浜田自治区における自治振興推進する部署（担当者を配置）振興係を新設すべきだ。議会としても働きかけをすべきだ。旧那賀郡は各自治区に自治振興課が設置されているではないか。なぜ、浜田自治区にはないのか。

○周布公民館

- ・まちづくり総合交付金について、うまく行っていない、申請していないところがあるなど、有効に使われていない。住民もよく分かっていない。バラマキではないか。行政としての答えを出してほしい。
- ・議会報告会がいいことではあるが、参加者が少ない、議会への関心が少ない、議会だよりを読まない人がいる、読むようにする必要がある。

○国府公民館

- ・火葬場の統廃合計画の検討について各火葬場の老朽化の状況など説明をお願いしたい。1炉当たり人口1万5千人の基準で、人口6万人では4炉となるが、4か所の火葬場があり距離感のこともあるが、経費のムダである。他市の火葬場に行くと立派になり内容もよくなっていることを十分配慮し、検討に最善を尽くしてほしい。
- ・報告会の説明も分かりやすく資料も良い、参加者が少なくもったいない、周知方法、開催のやり方、課題などを検討する必要がある。説明会はありがたいことで必要なことで、1回で終わらず続けてほしい。公民館との共催や後援、他の事業との合わせ技、託児所を準備して若いお母さんの出席を促す、地域ごと年代別などターゲットを絞ってやってはどうか。

○旭公民館

- ・支所では、人員削減が行われているが、支所の人事においては、本庁でしっかり教育された職員を配置して頂きたい。（地元の事情が理解できていない。また相談に対して本庁にきいてからなど対応が遅い）
- ・がれきの受入れについて市長が報道に述べているが、議会の受入れの考え方について聞く。

○長浜公民館

- ・議会だよりを見ていない人が多いと感じている。市民の人に見て頂けるよう習慣化されるよう工夫してほしい。
- ・議員定数については、削減ありきでなく市民の意見が反映されるような適正な数に議員定数を求める。また、議員報酬についても他市に比較して低いと感じている考慮されたい。

○金城公民館

- ・かなぎウェスタンライディングパークの存続・廃止論があるが、まちづくりをする上で必要である。存続させてほしい。
- ・人口減少が進み心配だ。地域振興をどうやっていくか我々も考える。議会の人も考えを出してほしい。

○弥栄公民館

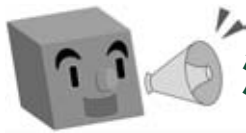
- ・一般質問が形骸化している。政策提言をすべきだ。
- ・議員定数の数も大事だが、議員の報酬も一緒に論議して数を考えるべきで、日当制も考えてはどうか。

○美川公民館

- ・議会報告会を開催されたことは、良かった。議会だよりの内容に改善を望む。
- ・学校給食センターの統合がなされるはずであったが、なぜ行われないのか？

○浜田公民館

- ・議員活動に集中するためには、報酬が低すぎはしないか。
- ・中央図書館周辺の整備はどうなるのか。警察署の動向は。



浜田市議会議員の議員定数等に関するアンケート

浜田市議会では、平成25年度の改選時の議員定数について協議しています。

今後、市民の皆様のご意見やご要望を参考にして、さらに検討していきたいと考えていますので、下記のアンケートにご協力いただきますようお願いします。

*** 次ページのはがきに記載して切り取り後、8月31日までに郵便ポストに投函してください。**

(切手は不要です)

質問. 1 あなたの性別・年齢・お住まいについて教えてください。

- | | | | | |
|---------|---------|--------|---------|---------|
| A 男性 | B 女性 | | | |
| C 20歳未満 | D 20代 | E 30代 | F 40代 | |
| G 50代 | H 60代 | I 70代 | J 80歳以上 | |
| K 浜田自治区 | L 金城自治区 | M 旭自治区 | N 弥栄自治区 | O 三隅自治区 |

質問. 2 市議会に関心がありますか。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| A 大いに関心がある | B 関心がある | C 少し関心がある |
| D あまり関心がない | E 全く関心がない | |

質問. 3 浜田市議会の活動をどのように思われますか。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| A 大いに評価する | B ある程度評価する | C あまり評価しない |
| D まったく評価しない | E わからない | |

質問. 4 あなたの意見や市民の声が市議会に反映されていると思われますか。

- | | | |
|------|--------|--------|
| A 思う | B 少し思う | C 思わない |
|------|--------|--------|

質問. 5 各地区で5月に開催した議会報告会に参加されましたか。

- | | |
|--------|-----------|
| A 参加した | B 参加していない |
|--------|-----------|

質問. 6 質問5でBを選んだ方は、その理由をお聞かせください。

- | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------|
| A 知らなかった | B 興味がなかった | C 都合がつかなかった | D その他（ ） |
|----------|-----------|-------------|----------|

質問. 7 現在の議員定数28人について、どのように思われますか。

- | | |
|-----------------|------------------|
| A 多い（ 人が適当だと思う） | B 少ない（ 人が適当だと思う） |
| C ちょうど良い | D わからない |

質問. 8 質問7の理由をお聞かせください。 *あてはまるもの全てを記載してください

- | | | |
|----------------------|-------------------|------------|
| A 市の財政状況から | B 市の人口規模から | C 市の面積規模から |
| D 他市との比較から | E 議員や議会の活動が見えないから | |
| F もっと市民の意見を反映してほしいから | G その他（ ） | |

質問. 9 どんな議会・議員を望まれますか。

はがきに記載をお願いします

特別委員会の動き



▲県立大学の別枝学部長と議員との意見交換のようす

議員定数の議論は

多面的な視点で

6月定例会で中間報告

―議員定数等議会改革推進特別委員会―

特別委員会では、「全市一区で選挙を行う」とこと、総務省が法定定数を撤廃し定数の上限がなくなった状況のなかで「上限は28名として、それ以下で検討する」という2点を確認しています。これまでに10回の委員会と1回の視察（大分県大分市・臼杵市）を行いました。その間、地方自治専門家として県立大学

別枝学部長をお招きし、意見交換会を実施、見識を高めたところです。今後は5月に開催した「議会報告会」で出された定数に関する意見や今回号の議会だよりで市民アンケートを実施、集約し、それらを踏まえてさらに検討を重ねてまいります。あくまでも議会の役割を市民に理解していただいたうえで、自治区制度という特性も視野に入れながら、市民目線に立ち12月議会での議員定数条例改正を目指すという点を確認しています。

議会改革については、テーマの一つである政策討論会については、6月議会において運用規定を決定しましたので、今後実行してまいります。今後とも市民目線で議会改革に取り組む決意です。

（特別委員長 川神裕司）

アンケート回答はがき

に該当する記号（英数字）を記載してください。

性別 年齢 お住まい

質問1.

質問2. 質問3.

質問4. 質問5.

質問6. D その他の場合
()

質問7. () 人が適当だと思う

質問8.

G その他の場合
()

質問9.

*左の回答はがきを切り取って、お近くの郵便ポストに8月31日までに、ご投函ください。（切手は不要です）
ご協力をお願いいたします。

学生が議会・議員に求めるものとは！

―島根県立大学教授と
議員が意見交換―

4月27日に県立大学の別枝学部長から、議員定数に関する提起を受け、意見交換を行いました。

提起の内容は、学生たちが議員一人ひとりへ聞き取り調査を行った結果やゼミでの議論を踏まえたものでした。

学生が「市長と議会の関係が車の両輪ではなく、議会が補助輪になっているのでは…。議会がもっと発言力を強め、首長（市長）の動きを規制しても良いのでは…」との意見などが紹介され、「議員定数の議論は最終的に、どういう地域を抱え、その地域の意見をどれくらい議員が汲み上げられるのか、それを代表して語る熱意が重要ではないか…」と強調されました。

議会としては、このような提起も真摯に受け止め、参考にしながら、さらに定数議論を深めていきます。

知ってナッ得！ 請願と陳情のちがいは何ですか？

市の行政に関する意見や要望があるときは、だれでも請願書、陳情書を市議会に提出することができます。請願は、地方自治法及び会議規則に取扱いが定められていますが、陳情は法律的な権利として行われるものではありません。

請願には紹介議員が必要ですが、陳情には紹介議員の必要はありません。この点が、最も大きな違いです。浜田市議会の場合、請願（請願書）を提出する際は1名以上の紹介議員が必要です。なお、陳情（陳情書）は紹介議員が必要ないからといって、採択されにくいということは全くありません。

提出された請願書や陳情書は、議長が受理します。その後、請願書は定例会会期中の本会議のなかで、陳情書は定例会開会日（初日）に開催される全員協議会のなかで、それぞれ関係する常任委員会に付託します。そして、付託された常任委員会で公正・公平に審査します。

浜田市議会の場合、請願（請願書）は、最終的に本会議で採決し、議会としての結論を出します。

また、陳情（陳情書）は、付託された委員会で採決し、最終的に委員会としての結論を出すにとどめ、定例会閉会日（最終日）に開催される全員協議会のなかで結論を報告し、本会議で採決することはありません。浜田市議会の場合、この点も、請願（請願書）と陳情（陳情書）の取扱い方に違いがあるということになります。

平成23年度 他議会からの行政視察受け入れ状況

浜田市議会では、各種事務事業について、議会関係者の皆さまからの行政視察の受け入れを行っています。

昨年度は、下記の一覧表にあるように、全国から10団体の議会の方が、当市議会を通じて訪れ、浜田市が現在行っている各種事業の内容などについて視察されました。

月日	視察訪問市	人数	調査事項
5/19	鹿児島県志布志市議会	13	・議会運営 ・政務調査費
5/25	鹿児島県鹿児島市議会	3	・自然体験型観光 ・浜田駅北地区整備事業
8/8	山形県議会	1	・浜田の水産ブランド「どんちっち」の取組概要 ・株式会社島水の販売状況等を現地視察
8/9	新潟県佐渡市議会	7	・水産物ブランド化事業
9/28	福岡県筑紫郡那珂川町議会	7	・浜田市議会ホームページの取組経過など ・浜田市議会だよりの編集など
11/9	徳島県鳴門市議会	8	・「幼保小中連携ステップアップ事業」
11/11	広島県安芸郡坂町議会	13	・議会ホームページの作成及び掲載内容
11/16	大分県杵築市議会	8	・浜田の水産ブランド「どんちっち」の取組
11/17	千葉県東金市議会	5	・弥栄自治区の特区事業 ・中心市街地活性化の取組 ・はまだ産業振興機構による産業振興政策
3/22	福岡県太宰府市議会	3	・新市まちづくり計画～地域協議会～

料金受取人払郵便

浜田支店
承認

438

差出有効期間
平成24年9月
末日まで

（切手不要）

郵便はがき

6 9 7-8 7 9 0

544

浜田市殿町1番地

浜田市議会事務局 行



まちづくり交付金での地域活性化



道下 文男 議員

答 費用対効果のある事業に取り組む

質問 4年後には先細りすることが確実な財政見通しの中で、1億円近い財源「まちづくり総合交付金」を投入しての地域自治の再生化策が実施されているが、未だに市民には全く理解されておらず、かえってバラマキなどの批判も噴出している。市の今後の考えは。

に危惧している。たくましい浜田つ子に育てるべく、「生きる力」を育む教育の強化に取り組むべきではないか。

答弁 「キャリア教育」「赤ちゃん登校日授業」の取り組みを実施している。指摘の「挨拶運動」も、市役所内で積極的に推進し、子どもたちの地域行事参加も、学校側からできる限り促したい。

その他の質問

○適正な生活保護の受給
○通学路の安全安心対策
○「はま婚」の支援体制

質問 地元企業への若者の就職において、「弱い」「はぶてる」「辛抱がない」などの理由により、早期の離職率が高まっており、将来の浜田市を非常

に危惧している。たくましい浜田つ子に育てるべく、「生きる力」を育む教育の強化に取り組むべきではないか。



▲町内体育祭での応援席

自治区制度は27年度で終わりか



田畑 敬二 議員

答 市政の根幹であり慎重に検討する

質問 中期財政計画によると、28年度以降区長の報酬が記載されておらず自治区は、27年度で終わるか。

答弁 自治区制度は市政運営の根幹であり、議員や市民の声を伺い慎重に検討する。

質問 地域協議会の役割はどのようなのか。

答弁 地域住民の声が行政施策反映でき必要であり、自治区制度のあり方とともに検討する。

質問 まちづくり総合交付金制度はどのようなのか。

答弁 過疎法の延長の動きがあり、その動向に注視しており、財源措置がなくなれば大変厳しい状況になり見直しが必要になる。

質問 中山間地域では高齢者が現役であり、主役農業現場では、農地の維



▲都川の里「縁側喫茶」

持、集落の維持に苦勞をしている。中山間地域の農業を支援する援農隊のような制度を検討する考えはないか。

答弁 農作業等を支援するしくみ作りについて研究する。

質問 縁側喫茶「都川の里」棚田百選に選ばれた都川棚田の農村景観・地域文化の継承する手法は。

答弁 地域再生活性化事業を展開するなかで、地域の声で実現した。地域の声を聞き全面的に支援する。

低空飛行―高度算出で

さががけの取組を



西村 健 議員

答 今夏開催の連絡会で検討する

質問 昨年と今年の低空飛行の観測状況を問う。

答弁 11年は122件、12年は5月末現在137件である。昨年の11月に米海兵隊岩国航空基地司令官、駐日米国大使館等に低空飛行訓練中止の要請を送付した。

質問 5月15日に開催された「石見地区在日米軍機飛行騒音等対策連絡会」の協議内容を問う。

答弁 情報・意見交換を行い、県からは、国等への要請は連携して行うことや、騒音測定器は県が購入し、市町へ貸与することなどが提案された。

質問 今後の課題認識を問う。

答弁 地道な要請活動の継続とあわせ、近隣市町や県、中国地方など、より広域の自治体と連携して取り組まなければ解決

は難しいと考えている。

質問 わたしは、旭自治区長が昨年9月に撮影された低空飛行写真をもとに現地測量を行い、木田小学校付近では200数十メートルの高度で飛行したと推定される結果を得た。

今後、浜田市がさががけとして飛行高度を算出し、それをもとに、県や県議会等とも連携し、国に要請活動を行うことを提案するがどうか。

答弁 夏に開く連絡会の議題に上げ、検討する。



▲今年3月28日、旭町木田での現地測量の様子

いっぱい質問

15名が論戦

自治区制度の発展的検証を



江角 敏和 議員

答 市が良くなる立場で検証する

質問 「この制度を10年以上定着させるために…」との会長見解（合併協議会）からして、自治区制度は10年以上も続くと認識するが、その考えは。

答 条例で「当面10年」としており、いずれにしても検証が必要である。

質問 基金は、10年以降も自治区事業に充当するという前提がないと、大胆な制度議論が進まないのではないか。

答 その点は、十分認識し議論を行いたい。

質問 まちづくりの展望から、制度を検討すべきではないか。

答 財政状況等の課題を前提にしながら、中心部と周辺部が補完できる制度設計を目指す。

質問 制度の考察のあり方は。

答 本庁・支所体制は、

平成27年度を目標に「支所3部門化」を示した。

地域振興基金は、行政サービスの均衡を図る観点から、基金事業の検討が必要である。28年度以降は、主要事業の位置づけと地域振興基金の取扱いについて本年度から検討する。

地域協議会と自治区長は、今後整理すべき最重要課題と認識している。

質問 制度の「検討チーム」発足の考えは。

答 設置の必要性を認識しており検討する。



浜田市の成長戦略の要は海外遊客政策である！



牛尾 昭 議員

答 県と一緒に取組たい

質問 2020年には、アジア新興国の中間層が23億人を超える。中国友好都市真如鎮を起点とした広域観光ルートの中国語版を県や広島などと共同し、制作してはどうか。

答 インバウンド政策の友好都市関連は重要であり、県と協議し広島など他都市とも連携したい。

質問 虹の大使や県立大OBに呼びかけ、浜田市応援団を中国で作つては。

答 県立大や関係者と協議し検討したい。

質問 かなぎウエスタンライディングパークについて外部委員を入れた検討会議が開催されていないが、議会軽視ではないか。

答 申し訳ない。今、開催協議をしており、速やかに立ち上げたい。

質問 ブータン王国と友



好提携し、室谷にブータン文化村を作つては。

答 大きな宣伝効果が、ブータン王国の意向を聞き検討したい。

質問 震災がれきの広域処理は、コスト増と聞く。

特産品購入などを市と議会が共同して行い、被災地支援をしてはどうか。

答 気仙沼市を中心に検討したい。

その他の質問

○政府の節電要請の市民生活への影響は？

障がい者雇用推進は優しい町の必須条件



川神 裕司 議員

答 障がい者雇用の機会拡大に向け取組む

質問 今回民間・行政組織の障がい者法定雇用率がそれぞれ2.0%、2.3%と引き上げられることになった。当市もこの数字をクリアするとともに、ノーマライゼーションの推進のためにも積極的に障がい者就労の受け皿として機能すべきではないか所見を聞きたい。

答 障がい者がいきいきと就労できる環境整備は重要である。正規職員の障がい者枠採用は、これまで4度の採用試験を実施し3名の採用実績がある。

現在は実施しておらず今後は正規職員の障がい者枠採用や嘱託職員等の障がい者雇用の機会拡大に向け取組んでいく。

質問 本年4月1日から施行された「児童手当法」においても保護者の同意を得て、児童手当から未納の給食費等を納付できるとされている。当市は実施されていないが、給食費未納問題の対処策に関して聞きたい。

答 未納額は、平成23年度末に約400万円である。対策としては個別面談や未納明細書の送付等、各学校で取組んでいる。

児童手当からの納付は県内で実施している他市を参考に検討を始めたところであり、今後も公平性の観点から学校と教育委員会が連携して取組んでいきたい。



待ったなし地域交通の便

切実な住民の声

芦谷 英夫 議員



答 地域に即した
交通手段を確保

質問 交通空白地域の解消について問う。

答弁 最寄りのバス停から500m以上離れ、交通手段のない交通空白地域は市内に53集落ある。その解消に向け既存サービス拡充やタクシー補助制度導入など検討したい。

質問 大谷三隅線の分断の影響と地域要望を問う。

答弁 ひゃこるバスは三隅を経由し浜田方面へは時間がかかる。井野地区の高校生や高齢者などの通学や通院に影響が出ており、地域や交通事業者と解決策を検討したい。

質問 桜ヶ丘町内の買い物ツアーの評価を問う。

答弁 桜ヶ丘町内からタクシーで週1回スーパーを往復しており、安心の買い物、買う楽しみ、交流の場など評価されている。地域主体の取組で今



▲桜ヶ丘町内買い物ツアー

後の施策に活用したい。

質問 山陰道三隅益田道路、福井臨港道路着手に對する評価を問う。

答弁 高速道路はつながつてこそ機能を発揮するということ、地方の主張が中央につながり評価している。浜田港の拠点港指定、臨港道路の事業着手は港湾利用に大きな効果がある。官民挙げた要望活動の成果であり、関係の皆さんに感謝したい。

その他の質問

○市民活動支援センター設置の検討

合併特例期限切れ後の

財政見通しに危機感を

西田 清久 議員



答 聖域のない徹底した
見直しが必要

質問 平成28年度以降の財政見通しは、段階的に加速度がついて大変厳しい状況が見込まれる。徹底した行財政改革の必要性と決意は。

答弁 普通交付税の合併算定替えの視点に沿った「公共財の適正化」などを含め、持続可能な財務体質への転換を図るべく、聖域のない徹底した見直しが必要。まずは平成24年度から順次職員への研修を重ね、改革に向けた意識の醸成を図っている。

質問 将来の財源不足のためには、自主財源を上げるための思い切った施策が必要と考えるが所見は。

答弁 行財政改革実施計画においても、受益者負担の適正化の観点から使用料及び手数料の見直し、

市税収入の確保や市有財産の有効活用について、目標を掲げ取り組んでいる。

また、予算措置においても、雇用拡大につながる企業支援やリショップ事業など、水産業をはじめとする産業振興に重きを置いて編成に努めている。



質問 事業のスクラップアンドビルドが思い切つて実施されているか。

答弁 「一般経費」については、各部に財源枠「シーリング」を提示し、その枠内で事業の新陳代謝を図っている。

震災がれきの受入れは慎重に

山田 義喜 議員



答 市民の理解が前提

質問 市長は、早い時期から震災がれきの受入れを表明されたが、どのような条件が整えば受入れるのか。

答弁 がれきの安全が担保され、放射線測量等の検証により、市民の安全が確保できて、市民の皆さんの理解を得られることが前提となる。

また、コンテナ等の保管場所の確保や施設までの輸送方法、そして処理に係る安全性の確保のため焼却施設、埋立施設の改修など、ハード面についての条件をクリアする必要はある。

質問 被災地支援に協力したい気持ちがありながら、受入れについての判断に迷いがあるのは放射性物質に対する懸念が大きく、国が示す安全基準が信用できないからでは

ないのか。

絶対に安全だと言い切れない問題だけに、慎重な取扱いを要請する。

答弁 現在、島根県では、さらに厳しい基準の策定を検討中であり、浜田市もそのガイドラインに沿った基準を策定する必要があると考えている。安全・安心が確保できることを住民の皆さんに理解していただいた上で、受入れができるものと思っている。



▲生湯町にある中間処理施設

まちづくりの根幹を成す

町内会活動の支援を

平石 誠 議員



答 まちづくり総合交付金の浸透に努める

質問 まちづくりの根幹となる町内会等の組織は、高齢化や地域の特性等から、活動に温度差が生じている。組織再編等の対策や支援策を講じるべきではないか。

答弁 活動事例の紹介や「まちづくり総合交付金」のメリットを説明し、活性化に繋げる。組織再編は地域の自主性を尊重したい。

質問 昨年度の「まちづくり総合交付金」の交付状況や課題、制度活用の浸透に向けた取組は。

答弁 市内147団体に對し、約1億8百万円を交付した。未交付団体もあることから、本事業の周知徹底や理解度向上に努める。

質問 まちづくりの支援には、市職員の積極的な地域活動への参加や、ア



▲地域行事の実施により活性化を図る

ドバイザー」の派遣、専門部署の新設等が必要では。

答弁 「まちづくり推進委員会」や「まちづくり総合交付金」に関する職員研修会を開催し、地域活動に積極的に参加する意識の醸成を図りたい。

「アドバイザー」については、国や県の制度を有効に活用できるよう地域の要望を取りまとめたい。

専門部署の新設は考えていないが、今後は公民館活動との連携も必要となってくるので、さらなる支援体制の充実を図りたい。

水産課は浜田漁港の

公設市場へ移転すべき！

笹田 卓 議員



答 来年度には良い形で移転を検討する

質問 観光振興課がJR浜田駅へ移転したように、現場第一の観点から水産課も浜田漁港にある公設市場へ移転すべきだと考える。北海道小樽市や神奈川県小田原市などが、公設市場に水産課を設置している。浜田市も公設市場へ移転する考えはないか。

答弁 先進事例があるなら公設市場への移転は可能と考える。来年度には良い形で移転を検討する。

質問 観光振興課がJR浜田駅へ移転したように、現場第一の観点から水産課も浜田漁港にある公設市場へ移転すべきだと考える。北海道小樽市や神奈川県小田原市などが、公設市場に水産課を設置している。浜田市も公設市場へ移転する考えはないか。



水産課は市場へ！

質問 中学部活動は中学によって、選択の格差が大きい。また今後、部活



浜っ子たちに未来を！

動があっても試合ができない運動部も出てくる。社会体育活動を准部活動として容認するなど、近隣校の合同部活動を行える環境を整備する考えはないか。

答弁 中学校によって、選択の格差が大きいのは理解している。社会体育活動の准部活動化については、前向きに検討する。近隣校の合同部活動については、移動手段や学校行事など課題も多く、東京都八王子市など、先進地の状況なども参考にしながら、調査・研究をしていく。

歴史が埋もれる

浜田城を攻略せよ！

布施 賢司 議員



答 多様で斬新なアイデアを検討する

質問 市の一つのシンボルである浜田城跡。城跡がある城山は都市公園の指定地でもあるが整備・保存が思うようにできていないのはなぜか。

答弁 昭和36年より設置していたが、老朽化で維持管理が難しくなり、平成20年に撤去した。トイレは勤労青少年ホームを利用できるようにしている。

質問 文化財や保安林、自然公園等の指定が重複し、五つの課と島根県が関係していて、各法令に係る許可を受ける必要がある。整備・保存には横の連携を図りながら、分担、協力して対処しているが、十分とはいえない。



▲浜田城跡（石垣）

質問 城山公園に公衆トイレがないのはなぜか。



▲標石

質問 魅力を情報発信して、集客できる観光地に是非とする必要がある。その方法としてPRや案内看板、目印の大幡設置、新リーフレットの作成、多機能機器利用、カルチャールバス運行、多様なイベント、駅鈴による伊勢松坂市との文化交流等、提案するがどうか。

答弁 多様で斬新なアイデアを検討していく。

施設の有効活用のため

「施設白書」作成を！



佐々木豊治 議員

答 有効な手段であり検討していく

質問 合併算定替えの28年度以降、財政運営が厳しくなるなかで、老朽化していく公共施設のマネジメントをどのように取り組むかは、非常に重要なテーマになる。施設の実態を把握し、情報を開示するための「施設白書」を作成し、今後の施設の有効活用に取り組むべきと思うがどうか。

答弁 今後の行政サービスの向上と財政負担の軽減を図るため、公共施設のマネジメントの実施・推進は重要と認識する。

そのための資料となり、施設の実態を把握し、適正な管理をしていくための「施設白書」の取組は、有効な手段であると考え、先進自治体の取組を参考に検討していく。

高齡化するなか町内活動維持の対策は？

質問 高齡化による担い手不足などから、まちづくり総合交付金を活用した町内活動が維持できない地域に、どのように対応していくのか。

答弁 ひとつの対策としてはシルバー人材センターの活用もあると考え

その他の質問

○県産材を活かした木造住宅支援事業の助成が、半額になった理由は何か。○防災対策について



▲老朽化した学校施設▲

結婚しないできない

若者が増えているが？



岡本 正友 議員

答 未婚化・晩婚化は雇用低収入も一因

質問 浜田市の少子化の現状と要因、そして女性の定住について伺う。

答弁 要因として若い世代の人口減少と経済的な不安が影響していると考える。当市の出生率は昭和29年をピークに現在は約3割に減少し、生涯未婚率は男性23%、女性7.1%の状況。女性の転出が男性の2倍である。

質問 当市において20〜44歳の未婚の男女の差から、1231人の男性が結婚できない状況である。成婚率は20代では男性の5人に1人、女性の2人に1人。30〜34歳は男性2人に1人、女性は7人に1人。35〜39歳は男女共10人に1人。40〜45歳は男女共20人に1人という状況で、その原因には見合いや職場等の出会いが激減している背景がある。



▲婚活サロンの活動状況

結婚しない、できない若者の婚活の取組と就業環境について伺う。

答弁 婚活の取組は民間団体に、補助金を交付して支援をしている。就業環境について未婚男性の雇用形態や賃金水準が低い状況があり、当市の未婚化もその一因であると考え。

その他の質問

○雇用創出の地域産業を活性させる支援策は。
①業種転換支援
②浜田港貿易振興

新システムの総合こども園とは？



新田 勝己 議員

答 学校教育・保育・家庭での養育支援を提供する施設

質問 新システムは、現在、市町村が実施義務を負っている制度から、利用者補助方式・直接契約方式に変えるものである。幼保一体化の総合こども園とは。

答弁 新システムの総合こども園は、幼稚園機能と保育所を併せ持つ施設で、学校教育・保育と家庭での養育支援を提供する。

質問 保育の必要性の認定は。

答弁 国が定めている「事由、区分、優先利用に関する認定基準」により市が審査する。事由は、就労の有無。区分は、保育の必要量を長短時間利用に設定する。

質問 集団登校で悲惨な事故が全国で相次いだ。全校に安全確保の点検が出されたが、その内容は。

答弁 各小中学校長に指

示し、点検項目は交通、増水、不審者等による危険箇所と各学校で作成の安全マップの再点検を行っており、児童生徒に交通安全指導の徹底と危険箇所は保護者にも周知している。

質問 市民ボランティア組織の現状は。

答弁 子ども見守り隊等「浜田市子ども安全連絡協議会」を設置し、通学路の安全確保や緊急時の連絡体制の確認をした。

その他の質問

○農業の新規就農支援



▲市内の認定こども園

特別委員会 視察報告

議会広報広聴調査特別委員会



▲佐賀県嬉野市議会での視察の様子

当委員会では、5月7日に佐賀県嬉野市議会を、5月8日は佐賀市議会を視察しました。今視察の調査事項は、①議会広報紙の取組、②議会報告会に関連した議会広報紙の編集、の2点で、それぞれ議会広報の作成担当議員から、詳しい説明を受けました。

(特別委員長
田畑 敬二

文字の詰め込みを避け、文字のサイズや余白、また写真などのバランスを工夫し、市民の皆さんはもちろん、小学生の児童さんたちにも読んでいただける内容や紙面づくりに努めておられました。当市議会としても、まずは誰にでも読みやすい紙面づくりに向け取組んでいきます。

また、議会報告会に関連した広報紙の編集は、報告会開催の際、各会場から出された市民の声を整理し、出された意見や要望、またアンケート結果をグラフ化するなど、創意工夫に努める必要があるとのことでした。当市議会としても、「いかに読んでいただけるか」という視点にこだわり続けていきます。

議員定数等議会改革推進特別委員会



▲臼杵市議会での調査事項の説明を聞く

当委員会では、内部議論だけではなく、議会改革を積極的に推進している先進市の取組状況を調査し、今後の議論の参考にするため2市の先進地視察を行いました。

大分市は、人口47万3955人、議員定数は46人で、次の2点の事項について調査しました。調査事項の1点目、議員定数問題に関する市民との意見交換会については、今年度、浜田市議会が初めて実施した「議会報告会」の形式ではなく、市

民との意見交換会やシンポジウムという形で議会の活動を市民に理解していただく取組を進められており、市内13箇所で行われていました。また、意見交換会周知用ポケットティッシュを作成し、議員自ら街頭で配布するなど、周知方法に創意工夫の跡が見られました。

調査事項の2点目、議員政策研究会は、政策課題を募集し、応募議員から趣旨説明、その議会運営委員会を経て研究テ-

マを決定するプロセスになつていました。議員からは、市民意見交換会における集客方法や議員定数の削減に関し質問があったところでした。

臼杵市は、人口4万3158人、議員定数は23人で、次の2点の事項について調査しました。調査事項の1点目、議員定数問題の取組に関しては、特別委員会で検討を重ねてきたが前回選挙においても無投票という背景が定数削減を加速させているとのことでした。

調査事項の2点目、政策討論会の取組に関しては、合併後市長提案の「四位一体の健全な響働体づくり」を契機に、議会から提案し、議員が自由に出した意見によりテーマを決定し実施しているとのことでした。

いずれにしても先進市の事例は大変参考になり、さらに議会改革を推進しなくてはならないと痛感した視察でした。

(特別委員長
川神 裕司

あしがき

縁側喫茶「都川の里」は、5月から11月の第一・第三日曜日に開催され、都川の特産色を濃く紹介したいと考え、4戸の方が縁側を開放し、各家で用意した「おもてなし」のお茶などで、たおやかな時間を過ごしてくださいという想いから始まりました。毎回、県内外から多くの人が訪れています。先人から脈々と受け継がれている農村景観や地域文化は、地域の誇りであり、浜田市の財産でもあります。この財産を活性化に結び付けるのが地域文化であり、これらの地域文化を将来にわたり継承することが大切です。

(記 田畑 敬二

【編集委員】

田畑 敬二	委員長
岡本 正友	副委員長
笹田 卓	委員
布施 賢司	委員
佐々木 豊治	委員
西田 清久	委員
三浦 保法	委員
山田 義喜	委員
牛尾 昭	委員
美浦 美樹	委員

〔議長なんでもメール〕

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。必ず議長自ら回答させていただきます。(住所・氏名を明記の上、送信ください)
E-mailアドレス: chairman@city.hamada.shimane.jp